

資料5

第 38 期 第 1 回 公 運 審
令 和 7 年 10 月 8 日

公民館事業の計画

| 館名 | 事業 | 講座名 | 目的 | 事業の特色 | 日時 | 講師(敬称略) | 定員 | 備考 |
|-----|--------|----------------------------------|---|--|--|-------------------------|---------------|----|
| 本館 | 成人教育事業 | 市民講座「戦後80年、戦没者の遺骨収容の実態」 | 第2次世界大戦中に南方や沖縄などの戦地で亡くなり、未だ収容されていない遺骨が数多くあります。戦後80年を迎え、戦没者の遺骨収容の実態について学びます。 | 民間で継続的に遺骨収容を行っている団体の方から、遺骨収容の実態や国の活動等の状況について、現場の様子を踏まえてお話しいただく。 | 12/6(土) 午後2時～4時 | 倉田 宇山(特定非営利活動法人「空援隊」理事) | 30人 (多数抽選) | |
| 東分館 | 成人教育事業 | 成人学校「野外学習 多磨霊園を歩く」 | 多磨霊園は日本で最初の公園風景を採用した墓地であり、多くの著名人が眠っている。そこで、実際に多磨霊園へ出向き、講師より概要を学ぶとともに一部の著名人墓地を道路から見学し学びを深める。 | 雨天決行を原則とするが、実施の1週間くらい前の天気予報で、当日台風等荒天が予測される場合は、野外学習は中止とし東分館にて座学に変更する。その場合は、速やかに参加者へ連絡をする。 | 10/28(火) 午前10時～正午 | 塚田 善久(歴史愛好家) | 16人 (多数抽選) | |
| | | 成人学校「森の国・ラオスの魅力ー歴史と文化、民族の豊かな彩りー」 | 今年、日本とラオスは外交関係樹立70周年を迎えた。そこで、日本とラオス間の相互理解を深めることを目的に、国の成り立ちや文化、民族、自然環境について学習する。 | 外務省の「日ラオス外交関係樹立70周年」認定事業の申請を行い承認され、広報の際には70周年記念シンボルマークの使用が許可された。 | 全2回 11/13(木)、 11/20(木) 午前10時～正午 | 菊池 陽子(東京外国語大学教授) | 40人 (多数抽選) | |

| | | | | | | | | |
|-----|--------|--|---|---|---------------------------------------|--|---------------|--------------------------|
| 緑分館 | 少年教育事業 | 子ども体験講座「STEAMチャレンジ！水の力で発電しよう」 | 創造力と理数力で問題解決するSTEAM教育を取り入れて、学校で学んだことを活かしながら、発電のしくみや奥深さを知る。また、参加者同士が講座を通して学年や学校を超えた交流を体験する。 | 水力発電キット（ブロック型教材）を使って、自分が思い描く「水の力で動く発電装置」を試行錯誤しながら作る。 対象は、市内在住・在学の小・中学生。 | 11/24(月・祝) 午後1時～3時 | 吉村 健志(東京学芸大こども未来研究所研究員)ほか | 15人 (多数抽選) | 東京学芸大こども未来研究所から水力発電キット貸与 |
| | 成人教育事業 | 市民講座「終活の中の墓じまい」 | 少子高齢化や世帯構成の変化で、先祖代々の墓を守り続けることが難しくなっている。こうした背景から、近年増加しているのが「墓じまい」である。墓じまいの現状や基礎知識、供養継承の問題について学ぶことを通して、家や家族について考える機会に繋げることを目的とする。 | 墓じまいの現状と基礎知識と供養継承の問題 | 全2回 1/15、1/22 いずれも木曜 午後2時～4時 | 二村 祐輔(葬祭カウンセラー、日本葬祭アカデミー教務研究室代表) | 24人 (多数抽選) | |
| | | 成人学校「江戸の庶民文化を振り返る 歌麿・写楽・北斎の仕掛人 蔦屋重三郎」 | 令和7年 NHK大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」で関心が高まっている中、出版人としての蔦谷重三郎が、世に送り出した浮世絵師などの人材活用術を学びながら、江戸の庶民文化を振り返る。また、受講者の学習意欲を駆り立て、地域で仲間とともに学習する楽しさを知るきっかけとなることを目的とする。 | 江戸中期 田沼意次の時代に、一代で江戸有数の版元（出版者）となった蔦屋重三郎が、発掘した新人作家や浮世絵師の作品を紹介しながら、江戸の庶民文化（化政文化）を振り返る。 | 2/27(金) 午前10時～正午 | 石橋 大祐(読売新聞社社長直属教育ネットワーク事務局) | 30人 (多数抽選) | |
| | | 成人学校「バイオリンの魅力 ―春のバイオリンコンサートとバイオリン演奏体験―」 | リニューアルした視聴覚室で、バイオリンの仕組みを学び、バイオリンの音色を楽しみ、また著名なバイオリンの楽曲を弾く体験を通して、演奏者と観覧者が交流、また地域で仲間とともに鑑賞・観覧する楽しさを知る。 | 第1部は、曲紹介やクイズを交えてのバイオリンコンサート、 第2部は、バイオリン演奏体験で、葉加瀬太郎作曲の「エトピリカ」演奏体験など | 3/1(日) 午後2時～4時 | 竹中 彩(バイオリニスト) | 40人 (多数抽選) | |
| | 文化活動事業 | 音楽鑑賞のつどい「オペラって楽しい！Vol. 11～ブッチーニ作曲『トスカ』ハイライトとオペラ名曲集（字幕付き）～」 | オペラは、物語の台詞にメロディーがつき、歌と演奏が加わることで物語の印象をより豊かに表現。その普通の芝居鑑賞とは異なるオペラの魅力を、初めての方々にも興味をもっていただけるような構成と解説で体感してもらう。 | ブッチーニ作曲『トスカ』のハイライトとオペラ名曲集の上演。『トスカ』は、あらすじが分かるように字幕を映写。 | 12/7(日) 午後2時～4時 | 八方 久美子(ソプラノ) 平川 玲子(ソプラノ) 塩塚 隆則(テノール) 神田 宇士(バリトン) 岩渕 静(ピアノ) | 60人 (多数抽選) | |

| | | | | | | | | |
|-------|------------|---|--|--|---|--------------------------------|----------------|--|
| 貫井北分館 | 少年教育事業 | 青少年教育講座「冬の特別企画 小学生書き初め講習会」 | 冬休みの宿題の定番である書道を学ぶ。 | 他学校や他学年との交流を図る。 | 12/26(金) 1回目：午前10時～正午 2回目：午後2時～4時 | 布施杠華(書道サークル主宰) | 各回8人 (多数抽選) | |
| | 青年教育事業 | 青少年教育講座「学生ガイドと歩く早春の多摩霊園」 | 多摩霊園の著名人のお墓を巡る。 | 学生ガイドがその足跡や時代背景、作品などを解説しながら案内する。 | 2/10(火) 午前9時～11時 | 学生(東京エアトラベルホテル専門学校観光・ツーリズム科)ほか | 12人 (多数抽選) | |
| | 成人教育事業 | 市民講座「江戸の食文化とその特質」 | 江戸時代の町民たちはどのような生活をしていたのか、とりわけ食文化にスポットを当てて学ぶ。 | 江戸町民の食文化とその生活について学ぶ。 | 10/31(金) 午前10時～正午 | 市川寛明(江戸東京たてもの園園長) | 36人 (多数抽選) | |
| | | 市民講座「昭和100年を振り返る」 | 激動と変革の時代の昭和を振り返る。 | 昭和から起算して100年を迎え、改めて昭和を学ぶ。 | 12/3(水) 午後1時～4時 | 高山聡(サブカル近現代史研究家) | 36人 (多数抽選) | |
| | | 成人学校「こがねい散歩～さくらちょう界隈をめぐる～」 | 地域の魅力を探る講座 | 地域の名所を訪ねる。 | 11/19(水) 午後2時～4時 | 閑野寿幸(市史編纂委員 市民協力員) | 12人 (多数抽選) | |
| | 男女共同参画教育事業 | 男女共同参画講座「視覚障害のミュージシャンによるトーク&コンサート-あれもこれも“マイノリティ？”-」 | マイナー（少数）だからこそ大切な物事への関心を喚起し、障害者をはじめとするマイノリティや共生社会への理解を促進する。 | 視覚に障害のあるアーティストを招き、尺八というマイナーな楽器による民謡をアレンジした演奏とトークを開催する。 | 1/9・16・23 いずれも金曜日 午後2時～4時 | 真藤一彦(全盲尺八奏者)ほか | 40人 (多数抽選) | |